



メダル積み上げ器「TUNDOKO」

Company Profile

有限会社きさら

住 所／〒586-0009
河内長野市木戸西町
1-6-14-3
創 業／平成11年1月
設 立／平成15年2月
資本金／300万円
従業員／4名
T E L／0721-56-5047
F A X／0721-56-5046

■主な事業内容

アミューズメントホール及びキッズランド向け機器の開発及び製造販売(メダル洗浄機、メダル積み器、ボールプール用ボール洗浄乾燥機及び関連商品)

■主な取引先

ゲーム機製造メーカー、ゲーム遊技場



連続式メダル洗浄機

当社のセールスポイント

お客様からの
お褒めの言葉が
うれしい励みです。



代表取締役
片桐 健二さん

お客様に喜んでもらえることを一番に考えています。もっと喜んでほしいという思いから、また次の製品を考えるんです。お客様からお褒めの言葉を頂くと、何よりも励みになります。常にお客様とコミュニケーションをとり、ニーズを具体的にキャッチし、次回の作品づくりにつなげています。

ユニークな遊び心で開発する 子どもから大人まで楽しめる製品

有限会社きさら

<http://kirara-do.com/>

大阪
21



ボール飛ばし装置



ボール洗浄機「たまごん」

1時間に4万枚の処理能力 連続式メダル洗浄機

きさらは独創性に長けたゲーム機関連アイテムメーカーだ。アイデア豊富な片桐社長が中心となって画期的な製品を開発し、製造・販売まで行う。

新しく改良を加えたメダル積み上げ器「コーン&TUNDOKO」は、年間約1000台を生産する人気商品。メダルコーンを積み上げ置いておくストック型の機器で、わずか2分足らずでメダルタワーを完成させる。大手遊技センターのメダル落としゲーム機にも採用され、この分野でトップシェアを誇っている。

メダルの洗浄と乾燥の概念を変えたのが連続式湯洗いメダル洗浄機「kirara-do シリーズ」だ。これまで他社の洗浄機では一定サイズのメダルしか洗えず、水の拭き取りも不完全。温風ヒーターでの最終乾燥が必要で、スポンジ交換も毎日行わなければならず、ユーザーの不満が大きかった。

「kirara-do シリーズ」では、擦って洗う概念にとらわれず攪拌して洗う技術を追求め、どの様なサイズのメダルでも洗えるよう工夫した。また新考案の脱水スポンジローラーシステムにより、メダルから瞬時に水を拭き取ることに成功。同時に水が自動排出される為、スポンジ交換も3ヶ月に一度で済むようになった。処理能力は1時間あたり4万枚(他社製品は3万6000枚未満)。省電力仕様で、従来品に比べ1時間に1キロワット節約できるのもメリットだ。「最近では当社方式に類似した商品も現れ、悩みの種である反面、喜ばしくもあります」と片桐社長は語る。

見た目に楽しい ボール洗浄・乾燥機

現在、主力製品として力を注いでいるのが、遊技場のボールプール向けに開発したボール洗浄・乾燥機「たまごん」だ。これまで洗浄と乾燥を両立した機械はなく、同社の技術力が

それを可能にした。1時間で3600個もののボールの自動洗浄・完全乾燥が行える。従来、遊技場でのボール洗浄と乾燥は膨大な労力を要するため、月に1度しか洗浄を行わない所もあった。「たまごん」なら毎日洗うことも出来るため、衛生面での貢献度は高い。洗浄力にも優れ、(財)日本食品分析センターで細菌分析試験を行ったところ、「たまごん」で洗浄したボールは洗浄前と比べ細菌数は15分の1と激減していることも証明されている。

単なる「洗浄・乾燥機」ではなく、「子どもが楽しめる」点も同製品の画期的な点だ。ボールの動きや洗浄の様子がまるで遊具のようで、見ていて飽きない。「子供が楽しめるものにしてほしい」という顧客の要望に応えたこの演出は大好評。「たまごん」は「躍人気者」になり、東京の幕張メッセで開催される「アミューズメントショー」にも出展している。「今後もユニークで遊び心がある新商品を考案し提案していきたい」と片桐社長の夢は膨らむばかりだ。